

不祥事根絶に向けた取組

ひたちなか市立長堀小学校

学校教育は、児童、保護者及び地域の皆様からの信用・信頼で成り立つものです。教職員による不祥事は、その信用・信頼を失うことであり、あってはならないことです。そこで、本校では不祥事防止やコンプライアンスの確立、児童、保護者、地域の皆様からの信用・信頼を高めるための教職員の意識改革と方策について、下記のように取り組んでいます。

記

1 研修の充実

不祥事防止をテーマとした教職員の企画によるボトムアップ型研修と指導と正しい理解を目指したトップダウン型研修を組み合わせ実施しています。

- ・不祥事は、わいせつや盗撮、体罰、飲酒運転、情報漏洩、学校徴収金の不適切な処理、交通事故など多岐にわたります。
- ・校内コンプライアンス委員会を中心に年間計画を立てて毎月担当する学年が中心となり実施しています。
- ・校内研修では、講義やグループ討議、ロールプレイング等の技法を取り入れ、具体的な防止策について自分事として考え、話し合う機会としています。

2 定期的に相互点検できる環境づくり

教職員が定期的に点検し、相互に確認、指摘し合える風通しのよい環境を作っています。

- ・不祥事がなぜ起きてしまうのか、自分の行動や意識に問題がないか等を自分自身でチェックし、把握したり、自己啓発したりするために、定期的に点検しています。
- ・空き教室を含め教室等の整理整頓を心がけ、教職員が互いに確認、指摘できる風通しのよい安全安心な環境づくりに取り組んでいます。

3 自分事としてとらえることができるような事例の共有

不祥事関連の通知文や記事等を利用し、様々な事例を教職員全体で共有しています。

- ・教職員が自分事として自分自身や自校の問題に置き換えて考え、具体的な防止策を職員会議や学年会、研修会で話し合い、確認しています。

4 個人面談等の中での指導や支援

管理職による教職員との個人面談や日々の声かけを重視し、個々の悩み等の解決のための支援を行っています。

- ・教職員のストレスや個人的な悩みが不祥事の原因にならないよう、管理職が教職員一人一人との面談を通して、コミュニケーションをとりながら解決法を助言したり相談にのったりしてきめ細かな支援をしています。
- ・悩みを一人で抱え込まない、気軽に相談できる風通しのよい職場環境を作っています。

長堀小学校は、学校の信用・信頼を高めるために、不適切な指導防止の研修や意識確認を行っています。そのうえで、児童一人一人を大切にする高い人権意識の高揚を図っています。全教職員が一丸となって、不祥事の防止に取り組んでまいります。